

高尾山山頂から発信！

のぶすま

「のぶすま」とは
ムササビの古い呼び名です。

vol. 52 季刊
2018年夏号

高尾山でネブトクワガタに出会える ひ・み・つ

高尾山にはネブトクワガタというクワガタムシがいるのを知っていますか？人気のノコギリクワガタやミヤマクワガタの影に隠れ、あまり知られていないクワガタムシです。実はそんなネブトクワガタに出会える場所は東京都内でも限られていて、なかなか見かけることの少ない種類として昆虫愛好家の中で有名な存在なのです。なぜ高尾山でネブトクワガタが生息しているのか、それは高尾山の特異な自然環境にあります。クワガタムシから、高尾山の自然環境を追ってみます。

【ネブトクワガタ】

学名：Aegus laevicollis

体長♂12.2mm-33mm

見られる時期 6～9月

本州、四国、九州、沖縄に分布

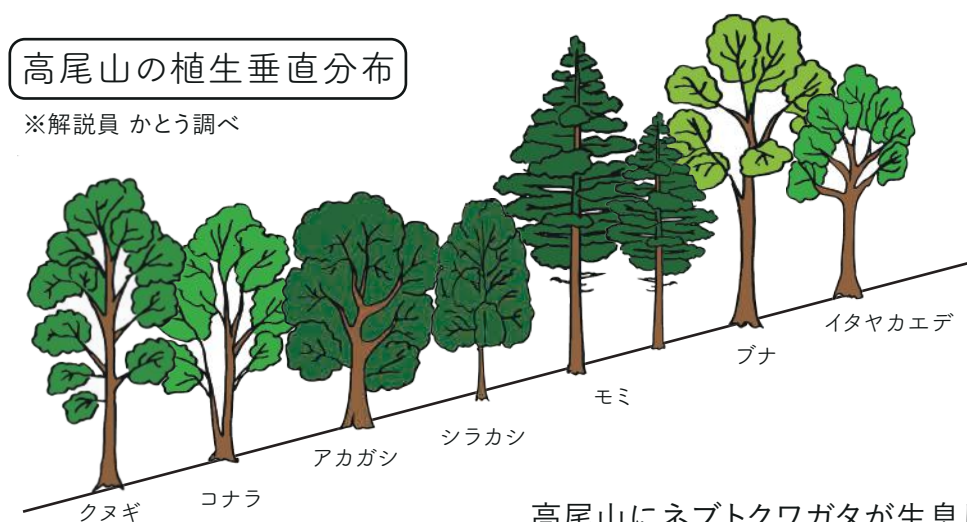


ひみつ その1

東日本のネブトクワガタの幼虫は赤色に朽ちた針葉樹の太い枝を好んで食べます。成虫になると、昼間は木の穴や裂け目に潜んでいて、夜は樹液を求めて出てきます。他のクワガタムシは広葉樹を好みますが、針葉樹を好むのはネブトクワガタの特徴です。ネブトクワガタは、シイ、カシ、ニレ、タブ、クヌギ、モミなどの樹木を好みますが、高尾山にはほとんどの樹木がそっていて、特にモミ林はネブトクワガタにとって適した環境なのです。

高尾山の植生垂直分布

※解説員 かつう調べ



どの木にどこか迷ってまう



高尾山にネブトクワガタが生息している理由はもう1つ>>>

Twitterでふりかえる 高尾山ニュース！

2018年の4月より、Twitter・Facebookをはじめました！
山頂の気温や天気、旬な自然情報などを毎日発信しています。
では、4月～6月の間にあがったツイートの中から、注目のニュースをご紹介します。

7年ぶり！イヌブナの開花（4/13）



今年の春は、7年ぶりのイヌブナの開花が確認されました。
登山道上には大量に積もったイヌブナが広がり、解説員で拾い集め
花吹雪のようにして遊んだのを思い出します。
現在では、見事に実が膨らんできていますので、そちらもぜひ観察し
てみてください。ケーブルカー高尾山駅の改札前には、イヌブナとブ
ナの木が並んで生えているので、実の比較がしやすくオススメです。
みなさまからのフォローや「いいね♡」お待ちしております。

←(注)真似する時は、自己責任で！

自然に優しい人間とは…

解説員
11
らむ
vol.14

私の森での楽しみ方は、植物の細部を時間をかけてじっくり観察し、撮影すること。そんな私にとって悲しい出来事がランの仲間や人気のある花の周囲で起きています。綺麗に咲くお花、でもよく見ると周囲には草がほとんど生えていません。その代わり目立つのが、植物の下に回り込むように登山道から外れて伸びている道です。実は、花を仰ぎ見るように撮影したい為、道を踏み外し、斜面を降りてしまう人の踏跡なのです。足元の目立たない草本は多くの人に踏みつけられて枯れてしまいます。その場所で土砂崩れが発生し、草花がほとんど見えない場所へ遠のいてしまうのです。その他、希少種の周囲の植物を刈り取ってしまう、人気の花を目指し登山道から外れて近づき、すぐ近くにあって希少種に気がつかず踏み荒らすなどの惨劇も起こっています。私一人がちよっとだけ…とする行為も、多くの人が行えば自然に対するダメージは甚大になります。

私は多くのお客様に高尾山の豊かで貴重な植物たちを知って頂き、自然の楽しさをお伝えしたいのですが、この現状を考えると悩ましいところなんです。何も知らないお客様から「ランがある」と聞いたけどどこですか？」と尋ねられた時、私は場所と共に必ずこの現状をお伝えします。さらに、どう行動すれば貴重な植物を守れるか、一緒に話し合うこともあります。私も気づかされるのがたくさんあります。人の数だけ思いがあります。皆さんも高尾山の自然を残すために自分に何ができるのか、ぜひ今一度考えてみてください。

〈解説員 さとう(た)〉

季刊高尾ビジターセンターニュースレター「のぶすま」2018年夏号 vol.52

東京都高尾ビジターセンター自然解説員作成 2018年7月2日発行

所在地：〒193-0844 東京都八王子市高尾町 2176 電話：042-664-7872 FAX：042-662-9926

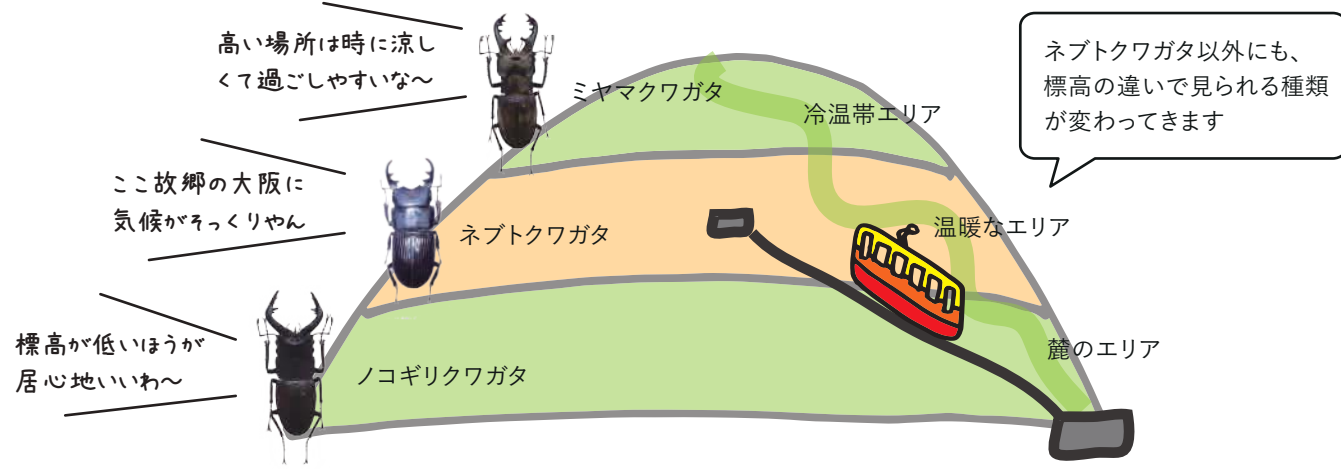
URL：http://takaovc599.ec-net.jp (カラー版最新号を閲覧できます)



「のぶすま」最新号とバックナンバーを高尾山山頂にある、高尾ビジターセンター窓口までお越し下さい。

ひみつ その2

ネブトクワガタは平均気温の高い西日本に多く、寒さには弱い特徴があります。関東山地に含まれる高尾山は寒い気候のためネブトクワガタにとっては厳しい環境かと思いきや、高尾山が特殊な気候環境を作り出しているため、ネブトクワガタが生息できるんです。特殊な気候環境とは、通常山は標高が上がるにつれて気温が低下しますが、高尾山では冷たい空気が山麓に流れ下って滞留し、気温が逆転して、山の中腹に温暖帯ができることです。そういった山内の年平均気温の高いエリアにネブトクワガタは生息しているのです。



高尾山のクワガタムシご紹介

ネブトクワガタを含めて高尾山には6種類のクワガタムシが生息しています。見つけた時はどんな環境にいたかも、要チェック!ぜひ探してみてください。



ペットで飼われていたものが放されたことが原因で、近年まれに発見されることがあるそうです。本来生息していない種類のクワガタムシが現れると、既存のクワガタムシ達は生息場所に困ってしまいます。ありのままの高尾山の自然の姿を維持したいですね。

高尾山では「く・わ・が・た」でマナーを守って観察!

く ち木は荒らさず わ がまな行動は控え が まんして逃がそう た のしく昆虫観察

高尾山は多くの植物と特殊な気候条件によって、多様な生きものが息づく自然豊かな山です。私はそんな山で、ネブトクワガタに出会い、生態や生息環境について調べることで、高尾山の自然のヒミツに触れることができました。この貴重な自然環境をこれからも残していきたいものです。

〈解説員 かとう〉

東海自然歩道

自然の保護と利用の遥かなる道

東海自然歩道、全長は1697.2kmにも及び、日本初の長距離自然歩道として計画されました。その実現には、国と都府県そして国民が力を合わせた、自然の保護と利用への大いなる熱意がありました。

「東海自然歩道を全部踏破してきました!」
高尾ビジターセンターへ来館された方から東海自然歩道のお話を頂くことがあります。東海自然歩道は、東京都の明治の森高尾国定公園と、大阪府の明治の森箕面国定公園とを、1都2府8県をまたいでつないでいます。

地域それぞれの自然や文化財を探索できるようコースが設けられ、一部を歩くもよし、全てを歩くもよし、その人次第の楽しみ方で地域の魅力に触れることができます。

現在このような長距離自然歩道と呼ばれる歩道が日本各地に存在しています。東海自然歩道は、その先駆けで昭和44年に厚生省から構想が発表されました。

その当時は高度経済成長期、関心は国土開発に向けられ、東京から大阪の地帯では都市化が進んでいました。また、野外レクリエーションの需要が急激に高まった時代でもあり、自然の保護と利用が課題となっていました。

ここに一石を投じたのが東海自然歩道の構想だったのです。東京から大阪の間にある自然や文化財が残っている地域を1本の歩道でつなげ、利用・維持していくことで、一帯の環境を丸ごと保護しようという大胆なものでした。

構想は新聞各社の支持を受け、国民の反響も大きなものでした。しかし、ルートの調査選

定や土地管理、予算確保といった点で、担当部署だけでは実現は困難な状況でした。

そこで、厚生省は具体的なルート選定を都府県へ委ねることにしたのです。そして、ルートは既存の道路を活用し、土地所有者の使用許可を得るように方向づけをしました。

これらの取組みによって、より地域の特色ある魅力的なルート選定と、建設や土地買上げといった費用の節約が促進されました。

また、国民による支援活動も計画の実現を後押ししました。

構想発表の翌年、50もの民間団体が集まって「東海自然歩道友の会」が結成されました。署名運動や政府要人・政党への陳情といった活動は、予算の一部を獲得するに至りました。国と都府県そして国民が力を合わせた結果、構想は遂に実を結んだのです。

発案者の大井道夫氏は、東海自然歩道の構想について次のように述べています。「人間自らの足で、何日も何日もかけてゆっくりと歩きながら自然を楽しみ、文化財と親しむ、そういう施設なり、自然保護の手当てなりが併存してこそ文明は限りなく前進することであろう。」

構想から約50年、踏破した方が話をされる時の嬉しそうな、誇らしそうな表情は、東海自然歩道の意義を何よりも雄弁に語っています。

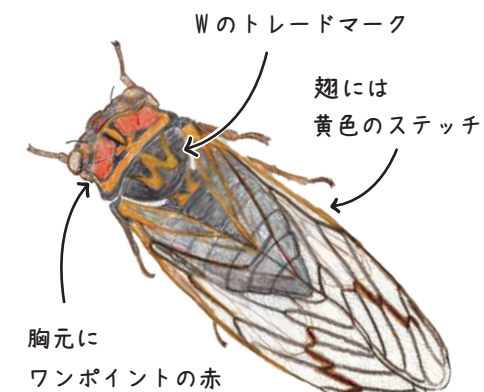
〈解説員 ふじの〉

夏に高尾山を登っていると、山頂付近で『ギー』という麓では聞きなれないセミの声が聞こえてきます。声の主はエゾゼミという山地に生息するセミです。

モミなどの木の高いところで鳴いているため、声は聞けても姿を見るのは難しいです。見つけることができたなら、とってもラッキー!

側 声を聞ける時期…7～9月
観察しやすい場所…山の中腹より山頂
鳴き声…ギーーーーーー

〈解説員 ふくざわ〉



見上げてごらん
山のセミを〜♪

エゾゼミ

解説員の
いちおし
vol.10